

# IT 自動化の 必要性

エグゼクティブが  
知っておくべきこと

# 目次

1

## 自動化でビジネスを加速 3

自動化によるスキルギャップの解消と IT 投資の最大化 4

Red Hat Ansible Automation Platform のビジネス価値 (IDC による調査) 5

3

## 1つのプラットフォーム、多くのメリット 9

インフラストラクチャ管理の自動化で複雑さを軽減 9

自動化によってネットワーク・プロビジョニングに対応 10

エッジの自動化によって安定性と一貫性を得る 10

セキュリティ機能に重点を置いた自動化へのアプローチ 11

クラウドの自動化によって複雑さを軽減する 12

自動化によってアプリケーションのデプロイを単純化する 12

ミッションクリティカルな自動化で将来に備える 13

2

## IT 自動化への戦略的アプローチ 6

IT 自動化ソリューションに必要な要素 7

4

## 成功のスナップショット 15

アジア開発銀行 15

Ulta Beauty 16

Swisscom 17

Agile Defense 17

5

## 組織内の自動化の可能性 18

エンタープライズ自動化を始める方法 19

6

## 今後の展開 20

1

# 自動化で ビジネスを 加速

組織が新しいテクノロジーを導入する理由は、効率化から環境のモダナイズまでさまざまです。

しかし、最新かつ最高のソリューションであっても、具体的なビジネス上のメリットをもたらすのであれば意味がありません。

自動化は、ビジネスのレジリエンシー（回復力）から、イノベーションの市場投入時間の短縮、確実な投資対効果（ROI）に至るまで、多くの分野にまたがる複数のビジネス上のメリットを提供できるソリューションの1つです。

自動化や人工知能（AI）ツールは、うまくいっていないプロセスや手動のプロセスおよび運用を修復するものではありません。先進的な IT 組織は、IT インフラストラクチャとシステムの信頼性、回復力、セキュリティ重視を維持するために、強固な自動化基盤を確立することから始める必要があります。インフラストラクチャ、アプリケーション、ネットワーク、IT サービス管理（ITSM）、セキュリティなどにまたがるエンドツーエンドの自動化ワークフローを確立することで、生成 AI をはじめとする新たなイノベーションの導入を成功させるための体制を整えることができます。

66

自動化により日々の業務は大幅に効率化されます…開発チームは、必要な IT リソースのプロビジョニングとデプロイに関連する摩擦を大幅に削減できます。従業員はサービス停止の少ない高品質なアプリケーションからメリットを得られます。<sup>1</sup>

IDC インフラストラクチャおよび運用担当リサーチバイスプレジデント

Jevin Jensen 氏

<sup>1</sup> IDC ビジネス価値ホワイトペーパー（Red Hat 後援）、「[Red Hat Ansible Automation Platform のビジネス価値](#)」、Document #US51839824、2024 年 3 月。



## 自動化によるスキルギャップの解消と IT 投資の最大化

リソースの制約、技術的負債、スキルギャップなどの組織の成長を制限するさまざまな要因によって、自動化導入の増加に拍車がかかっています。

Red Hat® Ansible® Automation Platform と、それが提供する広範な Ansible エコシステムなど、適切な自動化戦略と適切な自動化プラットフォームがあれば、企業は主要な機能とオプションを通じてこれらの課題に取り組むことができます。



### イベント駆動型の自動化

IT システム全体をプロアクティブに監視し、変化する状況に対して、手動での操作を必要とすることなく自動的にアクションを起こすことができます。これによりチームが抱えている既存のワークロードから大きな負担を取り除けるだけでなく、チームの能力を補うことでスキルギャップを埋めることができます。



### 認定および検証済みコンテンツ:

組織によっては、自動化を実施できる人材や経験が不足しているために、自動化の導入や既存の自動化の取り組みを拡張することをためらっていることがあります。Ansible Certified Content Collections と Ansible 検証済みコンテンツの広範なライブラリにより、Red Hat と信頼できる業界パートナーによる事前構築済みおよび事前テスト済みの自動化コンテンツを基盤に、独自の自動化を構築し始めることができます。これにより安心感が得られるだけでなく、価値実現までの時間を大幅に短縮することができます。



### 生成 AI:

生成 AI は、複雑さを軽減し、効率性と正確性を向上させながら個人やチームが Ansible コンテンツを作成、導入、保守できるよう支援します。Red Hat Ansible Lightspeed は、Ansible Automation Platform に含まれる生成 AI ツールです。自然言語のプロンプトをコードスニペットに変換し、組織とその多くのドメイン全体でより簡単に自動化を導入し、拡大できるようにします。



### クラウドネイティブ・デプロイメントの選択肢:

導入当初は短期的に問題を解決できたものの、現在では効率的な IT 運用に最適ではなく、解決するよりも多くの問題を引き起こしているプラットフォームやツール、アプリケーション、コーディングが技術的負債により残されることがあります。技術的負債を克服する鍵のひとつは柔軟性です。この場合、具体的にはデプロイメントの柔軟性と言えます。Ansible Automation Platform は、Amazon Web Services (AWS) や Microsoft Azure など、多くの主要パブリッククラウドプロバイダー向けに幅広いクラウドネイティブ・デプロイメントの選択肢として提供されています。

ビジネス価値を測定する最善の方法とは数字で見ることです。

IDC が Ansible Automation Platform のビジネス価値を調査して明らかになったことを以下にご紹介します。



## Ansible Automation Platform のビジネス価値

Red Hat が後援する IDC ビジネス価値ホワイトペーパーでは、Ansible Automation Platform を使用するお客様にもたらされる価値とメリットを調査しました。これらの組織は、Ansible Automation Platform を使用して、パブリッククラウドやプライベートクラウド、オンプレミス、エッジロケーションなどのハイブリッド環境やマルチクラウド環境における IT 運用、コンテナ、構成のアクティビティを標準化し、自動化しました。

このホワイトペーパーは、ビジネスにおける自動化の重要性がかつてないほど高まっていると述べており、Ansible Automation Platform を使用する組織が以下のことを達成していると明かしました。<sup>2</sup>

**668%**

3年間の ROI

**8 カ月**

投資回収期間

**61%**

予定外のダウンタイムを短縮

**38%**

ネットワーク管理チームの効率性を向上

**28%**

パブリッククラウドの管理効率を向上

**36%**

開発チームの生産性を向上

**68%**

新しいコンピュートリソースのデプロイが高速化

**23%**

新しい製品とサービスの市場投入時間を短縮

**854 万米ドル**

組織当たりの年間収益が増加

Ansible Automation Platform のビジネス価値の詳細は、IDC ホワイトペーパーをご覧ください。

[詳細はこちら](#)

<sup>2</sup> IDC ビジネス価値ホワイトペーパー (Red Hat 後援)、「[Red Hat Ansible Automation Platform のビジネス価値](#)」、Document #US51839824、2024 年 3 月。

# IT 自動化への 戦略的アプローチ

増加し続けるさまざまな要因により、自動化は今やミッションクリティカルなものであるという企業の見解が高まっています。

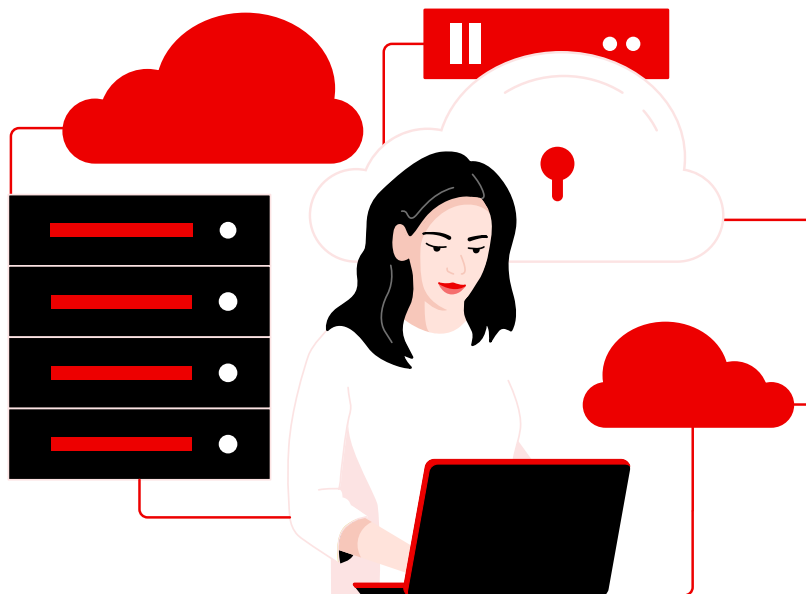
回復力と可用性の高いネットワークの必要性、ハイブリッドクラウド環境の管理の複雑さ、新しいサービスに対する需要、そしてコンプライアンスやセキュリティの管理に関連する持続的なリスクにより、自動化は先進的な IT 戦略にとって不可欠なミッションとなっています。

自動化について戦略的に考え、マーケティング部門、営業部門、人事部門、法務部門など、従来の IT 領域を超えて組織全体に自動化を拡張することで、チームはより迅速に行動し、予測可能性と効率を向上させて業務を遂行し、新しい働き方を生み出すことができます。これは、従業員を価値の低い手作業から解放し、彼らの労力をより価値の高い作業に再び集中させることができるためです。

すべての組織が IT 自動化をすぐに受け入れるわけではありませんが、それを戦略的な優先事項とする組織は競争上の優位性を得ることができるでしょう。

組織独自のビジネスニーズに焦点を当てた統合戦略による IT 自動化への包括的なアプローチは、業務を運営し、市場で勝つために必要なスピード、規模、安定性、セキュリティ重視を実現するのに役立ちます。しかしそのためには適切な自動化ソリューションが必要です。

包括的な IT 自動化ソリューションを探す場合は、可搬性からトレーニングまで、さまざまな要因を考慮することが重要です。e ブック「[IT エグゼクティブのための自動化ガイド：革新的な自動化の必要性](#)」では、IT 自動化ソリューションにおいて何を追求すべきか、包括的な自動化プラットフォームと特定の問題を管理するツールの選択という最も重要なことから始まるチェックリストを提供します。





## IT 自動化ソリューションに必要な要素

自動化する理由と組織への自動化の導入を成功させる方法を理解した後は、IT 自動化のソリューションを選択する必要があります。



### 自動化ツールではなく自動化プラットフォームを使う

組織のデジタル・トランスフォーメーションに不可欠な要素として、自動化を包括的に捉えましょう。タスクだけでなくワークロードも自動化できれば、プロセス全体を変更して従業員の作業時間を節約することができます。



### 複数のワークロードとドメインを単一のソリューションとしてサポートする自動化プラットフォームを見つける

自動化するにつれて、柔軟性とアジリティが必要になります。組織には数千のコンテナが存在する可能性があるため、コンテナのデプロイ、ネットワーク、拡張性および可用性についての自動化とオーケストレーションを実行できる自動化ソリューションを見つける必要があります。



### 導入が容易な自動化プラットフォームを選択する

プラットフォームが導入しやすいものであるほど、そのプラットフォームが組織全体で採用される可能性が高くなります。簡単に習得できるプログラミング言語と共有可能な認定済みコンテナを備えたテクノロジーを探しましょう。



### ロックインなしの自動化ソリューションを採用する

オープンソース・テクノロジーをベースとする自動化プラットフォームを選択すると、相互運用が可能になり、ベンダーロックインがなくなるというメリットが得られます。



### 管理ツールを備えた自動化プラットフォームを選択する

分析、ロールベースのアクセス制御 (RBAC)、コンテンツをシームレスに共有する機能を備えたプラットフォームを見つけましょう。



### コンサルティングとトレーニングを提供するベンダーを選択する

実装とトレーニングに関する管理を社内で行う必要はありません。自動化プラットフォームの構築と、その効果的な使用方法に関する従業員の教育を支援してくれるベンダーを見つけましょう。

「IT エグゼクティブのための自動化ガイド」からの抜粋。

[詳細はこちら](#)



### イベント駆動型の自動化含むソリューションを探す

イベント駆動型の自動化は、エンドツーエンドの自動化への次のステップです。1つのIT環境に対するインテリジェンス、分析機能、サービス要求を自動化されたアクションに接続し、作業を1回の動作で実行できるようにするというニーズに応えます。このモデルは、ITの変化する状況などへの対応に加え、大量のルーチンタスクやITSMに最適です。



### 生成AIを搭載したプラットフォームを探す

多忙なチームは自動化コードをより簡単かつ効率的に作成、導入、維持する必要があります。Red Hat Ansible Lightspeedなどの生成AIサービスは、プラットフォームエンジニアの学習と自動化の迅速化を支援します。また、経験豊富な開発者がコードを検証し、信頼性と自動化のベストプラクティスの遵守を実現するのに役立ちます。



「Red Hat Ansible Automation Platform: 初心者向けガイド」からの抜粋。

[詳細はこちら](#)



ビジネスのあらゆる側面にIT自動化を適用することで、組織内の効率を高め、運用コストを削減し、柔軟性を向上させることができます。

組織全体で自動化の取り組みをリードする方法についての詳細は、知見と業界のベストプラクティスに関する「[Red Hat Ansible Automation Platform: 初心者向けガイド](#)」をご覧ください。

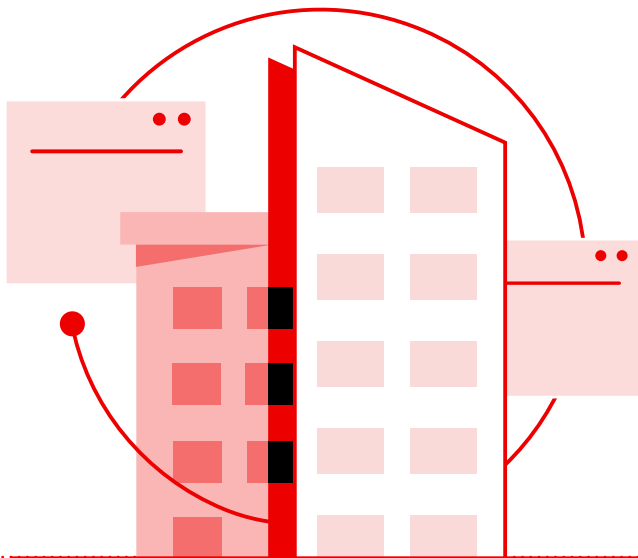


# 1つのプラットフォーム、 多くのメリット

Ansible Automation Platform は、自動化のあらゆる段階で組織を支援できるように設計されています。

この多面的な自動化ソリューションは、最大限の柔軟性を実現するように作られているため、組織はこのソリューションを使用して、あらゆる規模で、あらゆる場所で、あらゆる IT 環境を自動化できます。

最終的に組織全体の包括的な自動化を目指すのもよいですが、まずはどこから手を付ける必要があります。次に、自動化を通じてさまざまな領域で組織全体にもたらされる主なメリットをご紹介します。



## インフラストラクチャの自動化で複雑さを 軽減

Ansible Automation Platform は、先進的な IT 環境における管理の複雑さを軽減するのに役立ちます。一貫性のあるソリューションを使用して、物理環境、仮想環境、またはコンテナ化された環境など、複数の異なる環境にわたってインフラストラクチャの構築、デプロイ、プロビジョニング、管理を行えます。組織が変化に適応し、セキュリティリスクを重視し、コストを管理するために役立ちます。さらに詳しい情報が必要な場合：詳細は、eブック「[インフラストラクチャのワークフローを自動化する](#)」をご覧ください。



## 自動化によってネットワーク・プロビジョニングに対応

Ansible Automation Platform の単一のプラットフォームを使用してネットワーク全体、さらにはドメイン間の IT プロセスを統合し、効率を向上させることができます。エッジデバイスからクラウド需要の増加まで、ネットワークの規模と複雑さは増大しています。Ansible Automation Platform を使用すると、手作業では不可能な方法で、ネットワークのプロビジョニングと検証、構成管理、およびインフラストラクチャ認識に対応できます。

さらに詳しい情報が必要な場合：動画  
「Ansible Network Automation の 5 つの優れたユースケース」をご覧ください。

今すぐ見る

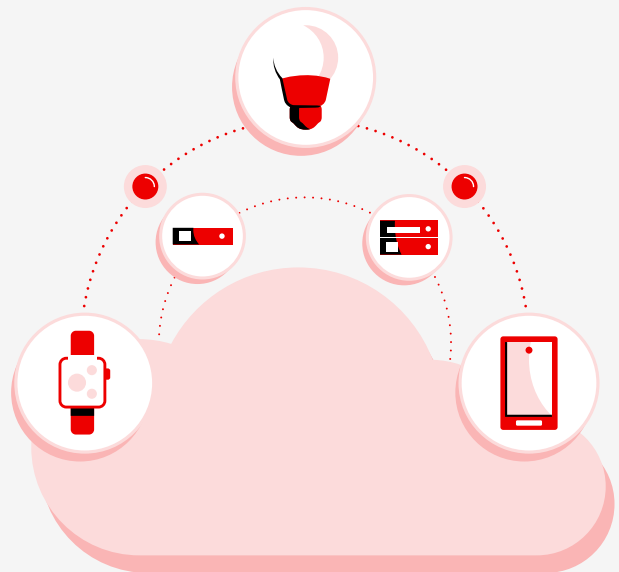
スイスの大手通信会社 Swisscom は、サーバー、ファイアウォール、ネットワークデバイス、ストレージデバイスなど、組織全体で約 20,000 のコンポーネントを自動化しました。<sup>3</sup>

[Swisscom の事例を詳しくご覧ください。](#)



## エッジの自動化によって安定性と一貫性を得る

Ansible Automation Platform は、エンドツーエンドの自動化をデプロイするための安定した基盤を提供します。自動化の対象には、データが生成され、エンドユーザーがデバイスやシステムとやり取りし、サービスが使用されるネットワークエッジも含まれます。Red Hat のエッジ・ソリューション・ポートフォリオの一部として、Ansible Automation Platform は組織全体で最適化されたプロセスと管理を構築するのに役立つ統一された自動化言語を提供します。



<sup>3</sup> Red Hat 導入事例、「[Swisscom、自動化の標準化と拡大により効率化を実現](#)」、2023 年 12 月 6 日。

## IDC レポート「[エッジの成長によりラストワンマイルの自動化の必要性が高まる](#)」からの抜粋<sup>4</sup>

# 70%

エッジソリューションをビジネス変革の重要な要素と見なしている組織。

# 74%

今後 2 年間でエッジソリューションへの支出を増やす予定の企業。

# 63%

今後 2 年間のエッジ・インフラストラクチャ投資において自動化が重要であると回答した組織。

# 59%

自動化プロジェクトへの投資を 12 カ月未満で回収したと報告した大規模企業。

ネットワークエッジでの自動化の詳細は、こちらの動画をご覧ください。

[今すぐ見る](#)



## セキュリティ機能に重点を置いた自動化へのアプローチ

Ansible Automation Platform を使用すると、増大するエンタープライズ・セキュリティの脅威に直面しているほとんどの組織にとって優先度の高いセキュリティプラクティスを、最適化された効率的な方法で自動化できます。Ansible Automation Platform は、精選された Playbook、モジュール、およびロールのコレクションを通じて、組織が調整かつ統一された方法で脅威に対応できるよう支援します。これには、脅威ハンティング、インシデント対応、そして調査へのアプローチの強化が含まれます。さらに詳しい情報が必要な場合：詳細は、e ブック「[セキュリティ運用センターを単純化する](#)」をご覧ください。

IBM Security [2023 年データ侵害のコストに関する調査レポート](#) によると、セキュリティ運用に AI と自動化を幅広く活用している組織では、活用していない組織と比べてデータ侵害のライフサイクルが 108 日短縮されていました。<sup>5</sup>

<sup>4</sup> IDC Spotlight (Red Hat 後援)、「[エッジの成長によりラストワンマイルの自動化の必要性が高まる](#)」、Document #US50598823、2023 年 4 月。

<sup>5</sup> 「[2023 年データ侵害のコストに関する調査レポート](#)」、IBM、2024 年 1 月アクセス。



## クラウドの自動化によって複雑さを軽減する

Ansible Automation Platform を使うと、クラウドデプロイメントがパブリッククラウド、プライベートクラウド、ハイブリッドクラウド、またはマルチクラウド環境で効果的かつ効率的に機能するようになり、プロセスから当て推量をなくすのに役立ちます。Ansible Automation Platform はプロビジョニング、構成、コンプライアンスに使用できます。

さらに詳しい情報が必要な場合：Ansible Automation Platform による[クラウドサポート](#)、e ブック「[IT 自動化でハイブリッドクラウド環境を接続する](#)」

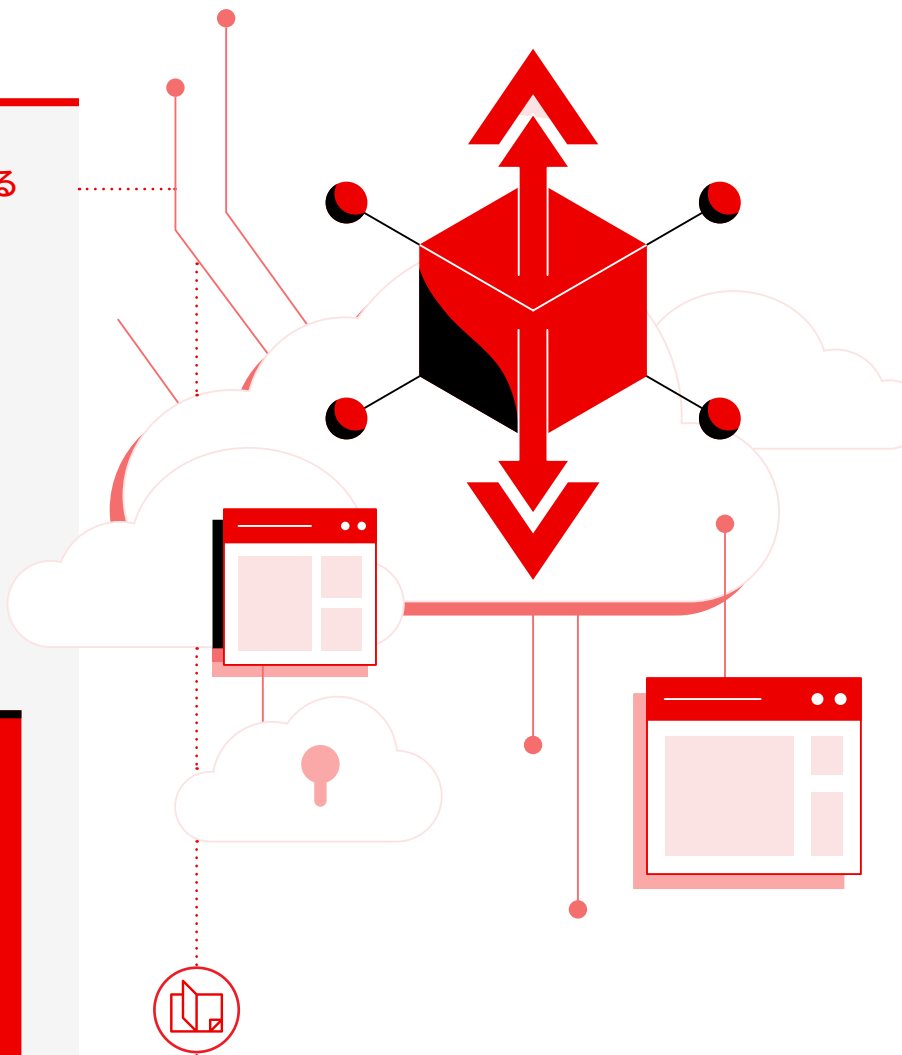
「当社はクラウド・インフラストラクチャの一部として Microsoft Azure 上で Red Hat Enterprise Linux を実行しているので、Red Hat テクノロジーを利用し、そのチームと共同作業をした経験があります。Ansible Automation Platform は当社の技術仕様とベンチマーク要件を満たし、ローカルサポートも利用可能でした」

**Vikas Bhandari 氏**

AIA Group クラウドおよびインフラストラクチャ グループ エンジニアリングおよびデリバリー担当ディレクター<sup>6</sup>

AIA Group がワークロードの 90% をクラウドに移行した方法を見る。

[詳細はこちら](#)



## 自動化によってアプリケーションのデプロイを単純化する

Ansible Automation Platform でアプリケーションのデプロイを自動化アプリケーションやサービスが存在する場所に関係なく、1つのプラットフォームからすべてをデプロイできる、最も簡単な方法です。Playbook は作成と保守が容易で、これを使うことでインストール、アップグレード、日常の管理が繰り返し可能かつ信頼性の高いものになります。

さらに詳しい情報が必要な場合：アプリケーションのデプロイのユースケースを見る。

[詳細はこちら](#)

<sup>6</sup> Red Hat 導入事例、「[AIA Group、IT プロビジョニングを自動化してサービス提供を迅速化](#)」、2022 年 4 月 1 日。



## ミッションクリティカルな自動化で将来に備える

ミッションクリティカルな自動化には、セキュリティ監視やシステムアップデートなど、必要不可欠な IT プロセスが含まれ、多くの場合、ビジネスの継続に不可欠です。

自動化戦略を構築し、自動化プラットフォームを選択する際には、ミッションクリティカルな自動化のサポートが主な焦点となる必要があります。ミッションクリティカルな自動化アプローチについて、以下の要素を検討しましょう。



**自動化は、プラットフォームエンジニアリングをドメイン全体に拡張する方法です。**

セキュリティとコンプライアンスのニーズに大規模に対応するには、開発チームと運用チームがより効率的に作業できる必要があります。

ドメイン全体で一貫性があり規制に準拠した自動化サービスを提供できるようにする自動化プラットフォームを探しましょう。



**Automation as Code は、企業における AI 導入の鍵となります。**

AI は、うまくいっていないプロセスや手動のプロセスを修正するものではありません。価値と結果を提供するためには、コード化された運営基盤が必要です。

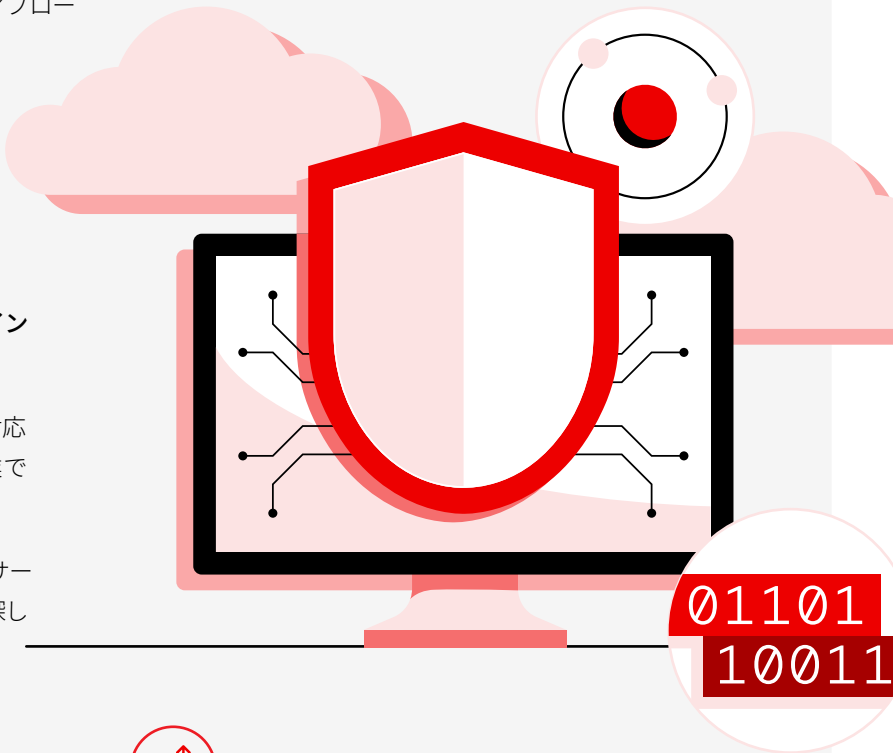
全社的な AI 導入の基盤として、IT 運用コードベースを標準化、コード化、運用化する必要があります、それをサポートする自動化プラットフォームを探する必要があります。



**自動化は企業のワークフローを強化するものです。**

リソースの制約と技術的負債により、組織は既存の IT 投資を最大限に活用する必要があります。

チームとテクノロジーの可能性を最大限に引き出す自動化ソリューションと自動化アプローチを検討しましょう。



どの領域から開始するかを決定したら、次は、あらゆる場所で一貫したエクスペリエンスを提供するためには自動化をどこで実行すべきかを検討します。

Ansible Automation Platform はコンテナネイティブなので、それを実現できます。そのため、以下の環境で反復可能な自動化を作成し、効率的に管理し、必要に応じて拡張する柔軟性が得られます。



**データセンター** 依存しない自動化、ビジネスワークフローへの統合、複数の IT ドメイン間での共通の言語やフレームワークの維持



**パブリッククラウド** プロビジョニング、アプリケーション・ライフサイクル管理、クラウド管理



**ハイブリッドクラウド** インフラストラクチャの調整、構成管理、ライフサイクル管理、ビジネス継続性



**ネットワークエッジ** イベント駆動型の自動化、障害復旧、大規模な構成、リモート更新とコンプライアンス



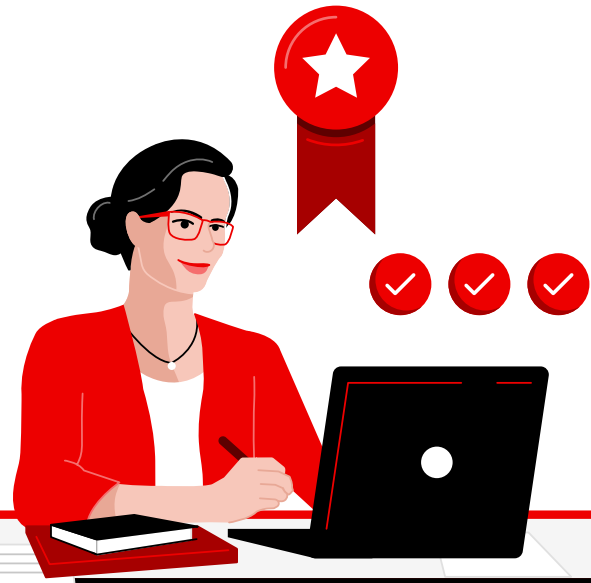
**Ansible Automation Platform** についてさらに詳しい情報が必要な場合、この[データシート](#)で、機能やメリットなどの製品概要をご覧ください。

4

# 成功のスナップ ショット

自動化によってビジネス価値を実現した実例を見れば、自動化戦略を導入した組織にどのような結果がもたらされたのかがわかります。

Ansible Automation Platform を使用して成果を上げている組織の事例をいくつかご紹介します。



## アジア開発銀行、Red Hat でインフラストラクチャ管理を自動化して数百時間を節約

### アジア開発銀行：<sup>7</sup>

- データベースのクローニング、パッチ適用、復旧を自動化することで毎年数百時間分の作業を削減
- インフラストラクチャのセキュリティと信頼性を向上
- エキスパートの指導を受けて自動化戦略を最適化

お客様事例の全文を読む

詳細はこちら

「Ansible Automation Platform のおかげで、作業をより速く、より安全に完了できるようになり、レジリエンシーも向上しました。Red Hat は、アジア開発銀行が先進性と適応性を向上できるように支援してくれています」

Pierre Passin 氏  
アジア開発銀行次長<sup>9</sup>

<sup>7</sup> Red Hat 導入事例、「[アジア開発銀行、Red Hat でインフラストラクチャ管理を自動化して数百時間を節約](#)」、2022年5月16日。



## Ulta Beauty、Red Hat で標準化して自動化とサービス提供の変革を実現

「Red Hat Ansible Automation Platform の組み込み機能は、まさに箱の中のアクセラレーターです。ベンダーやパートナーの多くも自社技術のインストール、設定、保守のためのスクリプトを書くのに使用しているデファクトスタンダードです」

Jesse Amerson 氏  
Ulta Beauty IT ディレクター<sup>8</sup>

### Ulta Beauty Group：<sup>8</sup>

- SAP S4/HANA システムを Microsoft Azure に移行し、ダウンタイムとサービス停止を最小化
- デプロイメントの自動化により、デプロイメント時間を 3 週間から 1 日以内に短縮し、作業時間を数千時間短縮
- 自動化により、提供時間、提供量、反復性、価値実現までの時間を改善

[お客様事例の全文を読む](#)

[詳細はこちら](#)



<sup>8</sup> Red Hat 導入事例、「[Ulta Beauty、Red Hat で標準化して自動化とサービス提供の変革を実現](#)」、2024 年 3 月 12 日アクセス。





## Swisscom、自動化の標準化と拡大により効率化を実現

「Red Hat Ansible Automation Platform はあらゆる製品を管理することができるので、異なるチームがすべて Red Hat Ansible Automation Platform を使用できるというシナジー効果が見られます」

Giancarlo Morena 氏  
Swisscom プロダクトマネージャー<sup>9</sup>

### Swisscom :<sup>9</sup>

- オペレーティングシステムの手作業を年間約 3,000 時間分削減
- IT タスクにセルフサービス機能を提供し、一般的なタスクを単純化および高速化
- Playbook、ノウハウ、経験の共有によるコラボレーションの向上
- Red Hat のエキスパートから学ぶことで理解を加速

[お客様事例の全文を読む](#)

[詳細はこちら](#)

## Agile Defense、自動化でセキュリティ・コンプライアンスを単純化

「チャンスを追求するための Agile Defense の主要な契約手段が、Red Hat の革新的な製品や先進的なテクノロジーと組み合わせられることにより、変革的な成功をもたらします」

Victoria Trunnell 氏  
Agile Defense ソリューションリード<sup>10</sup>

### Agile Defense :<sup>10</sup>

- 顧客が監査に費やす時間を 98% 削減
- Red Hat の製品を使用し、技術指導を受けて開発された Agile Defense のセキュリティ・コンプライアンス・ツール、DuroSuite をより迅速に市場に投入
- 競争の激しい市場で新たな可能性を開く認定を獲得

[お客様事例の全文を読む](#)

[詳細はこちら](#)

<sup>9</sup> Red Hat 導入事例、「[Swisscom、自動化の標準化と拡大により効率化を実現](#)」、2023 年 12 月 6 日。

<sup>10</sup> Red Hat 導入事例、「[Agile Defense、自動化でセキュリティ・コンプライアンスを単純化](#)」、2024 年 1 月 22 日。

# 組織内の自動化の可能性

自動化が自社ビジネスにもたらすメリットを考えてみてください。チーム同士がつながり、統制の取れた自動化を行えたら、何を実現できるでしょうか？

チーム同士が統合され、孤立するグループがなくなると、次のことが可能になります。



市場投入までのスピードを加速する



DevOps の文化を育む



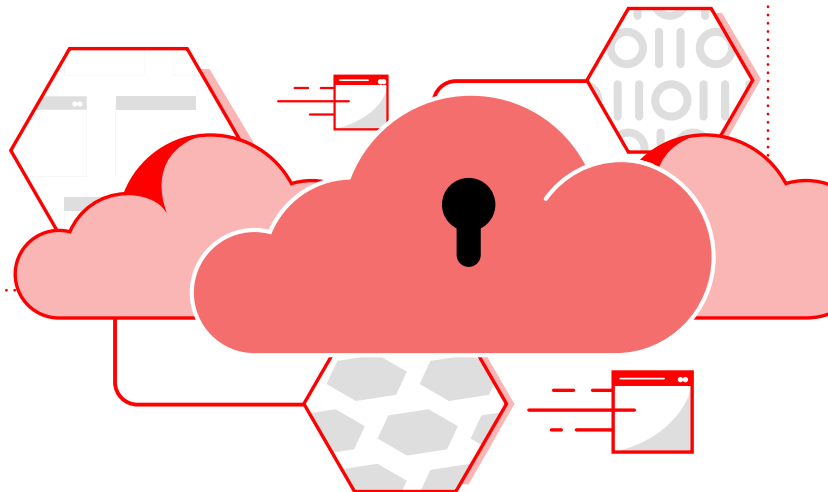
ハイブリッドクラウドとマルチクラウド環境を拡張する



インフラストラクチャの安定性を向上させる



コンプライアンスを継続的に維持する



タスクをより簡単に自動化し、協調的な DevOps 環境を構築すれば、次のことが可能になります。



エンドツーエンドの生産コストを削減する



ヒューマンエラーとダウンタイムを最小限に抑える



IT 環境の複雑さを軽減する



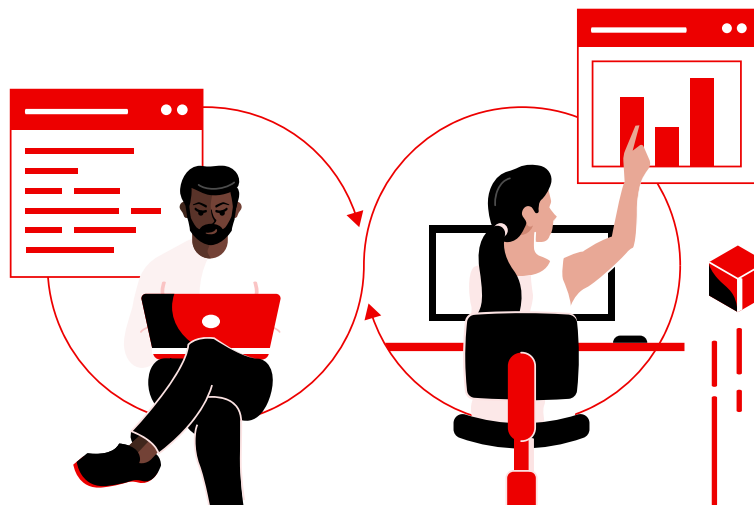
セキュリティの脆弱性を排除することに注力する



平均修復時間を短縮する

これが自動化戦略を実践した企業の姿です。自動化により、IT 部門はビジネスのより良いパートナーになることができます。

現在の自社の自動化の進捗状況と向き合ってみましょう。これらの目標を効率的に達成できているでしょうか。



## エンタープライズ自動化を始める方法

1

小さなところから始めて、大きな視野で考えましょう。自動化の取り組みは、自動化のメリットをすぐに実感できるように、単純で頻繁に繰り返されるタスクを自動化することから始めましょう。

2

そこから、より複雑なタスク、ドメイン全体、IT プロセス全体の自動化へと拡張していきます。

3

自動化アーキテクトを選任して、IT 部門に自動化ファーストの考え方が導入されるようにし、どこから始めてどのように進めるべきかを理解できるようにします。この重要な役割についての詳細は、[自動化アーキテクトのハンドブック](#)をご覧ください。



**[Red Hat Executive Briefing Center Program の概要をご覧ください。](#)**

[Red Hat Executive Briefing Center](#) と連携して、実現していきましょう。Red Hat の経営幹部、テクニカル・ソート・リーダー、プロダクトオーナーと一緒に、貴社固有のビジネス上の課題を評価し、それに取り組むことができます。

# 今後の展開

Ansible Automation Platform  
を使用することで解決できる  
問題、得られる突破口、実現  
できる価値は無限です。しかし、  
どのように始めればよいので  
しょうか？



何が可能なのかについて詳細は、  
[Ansible Automation Platform の  
ランディングページ](#)をご覧ください。



[貴社の自動化戦略についてご相談  
ください](#)



進むべき次のステップについて、  
[Red Hat サービスチーム](#)にご相談  
いただくこともできます。エキスパート  
によるトレーニング、運用上のガイ  
ダンス、実践的な指導を受けること  
も可能です。